

楽しかった夏休みは終わり、2学期がはじまりました。今年の夏は暑かったですが、ゆっくり読書ができましたか？

涼しくなれば読書の秋が、始まります。読書で心がホッとする時間をもてたらいいですね。また、学習で疑問に思ったことなどがあったら、本で調べてみませんか。2学期もよろしくお願ひします。



本の並べ方が変わりました!!

夏休み、ブックボランティアの方に協力していただいて、絵本や物語の並べ方を変えました。1学期までは、本の題名順に並んでいた本を作者順に並べ替えました。1冊の本が好きになったら、同じ作者の本を読みたくなるものです。これからは、好きな本に出合えたら、同じ作者の本も読んでみてくださいね。

お礼とお願ひ

ブックボランティアの方々には、古いシールを剥がしたり、新しいシールをはったり、大変な作業をありがとうございました。9月も子どもたちが夏休みに借りていた本の作業がありますので、引き続きご協力をお願いします。また、4月にブックボランティアの方を募りましたが、9月からでも参加していただける方があれば、学校までお伝えください。今年度は、月曜日(2時~3時45分)火曜日(9時半~12時半、2時~3時45分)の活動できる時間をボランティアの方に選択していただいています。月1回、1時間程度のペースでも結構ですので、よろしくお願ひします。

今月のおすすめの本

今月は、「戦争と平和」の本を集めて展示しています。



オットー

『オットー 戦火をくぐったテディベア(トミー・ウンゲラー作 評論社)』

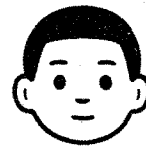
オットーは、デビットという男の子の誕生日に贈られたぬいぐるみのテディベア。近所にすむ友だちオスカーと仲良く幸せにくらしていました。ある日、戦争が始まり、デビットと家族は強制的に連れて行かれます。オスカーにあずけられたオットーも……。

『銀のナイフ(ヤン・セレリヤー作 岩波少年文庫)』



戦争中、捕虜収容所にお父さん・お母さんを連れていかれた3人のきょうだい、ルート、ヤン、プロニア。脱走したお父さん・お母さんをさがして、ポーランドからスイスをめざして子どもたちだけで旅をします。3人は、旅の中で大変な苦勞をしますが……。今、この本は出版されていませんが、図書室にはありますので、ぜひ読んでね。

へいわとせんそう



へいわとせんそう(谷川俊太郎文 ブロンズ新社)

「へいわのボク」と「せんそうのボク」を比べてみると、平和と戦争のちがいが、はっきり見えてきます。校長先生が紹介して下さった絵本です。